

教訓語り継ぐ 校舎と伝承館

遺構敷地内に建てられた伝承館

「震災遺構 大川小」開場 パネルや写真などで解説

東日本大震災犠牲者の追悼と教訓を伝える遺構として周辺整備を進めてきた旧大川小学校が7月18日、開場を迎えました。式には約60人が出席し、黙とうをさげた後、校舎前の献花台に花を添えました。大川震災伝承館も開館し、事実と教訓を伝える場として多くの見学者が被災校舎や展示内容を目に焼き付けていました。

被災校舎は外側からの見学となります。伝承館は、木造平屋建てで、管理室や展示室、多目的スペースで構成されています。大川小学校の事故、地域の被害状況をまとめたパネル展示が中心で、津波襲来時刻で止まった時計や被災した一輪車、地域を把握できる模型、震災前後の写真などが展示されています。

遺構見学は無料で時間は午前9時～午後5時まで。伝承館は毎週水曜日と年末年始が休館。ただし震災月命日の11日は開館します。

☎ 震災伝承推進室 (内線4254)



▲震災遺構となった大川小校舎



▲パネルの展示で災害の詳細を伝えています



▲手を合わせて冥福を祈りました



▲当時の時計なども展示

エスディーゼーズ SDGsで未来を変えよう!



Sustainable(サステナブル:持続可能な)
Development(ディベロップメント:開発)
Goals(ゴールズ:目標)

SDGs(持続可能な開発目標)は、地球上に住む全ての人が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくための世界共通の17の目標です。

今回は、持続可能なまちづくりを目指し「石巻市SDGs未来都市計画」に位置付けた事業の中から「水産業担い手育成総合支援事業」について紹介します。 ☎ SDGs地域戦略推進室(内線4223)



水産業担い手センター

漁業就業希望者の短・中期の住まい、研修の場として、水産業担い手センターを5地区(荻浜・泉町・北上・渡波・雄勝)に整備しており、それぞれ漁業への就労を希望する方に活用されています。

漁師学校の開催、各種研修の実施、求人活動、就職マッチング、新規就業者のフォローなども行っています。

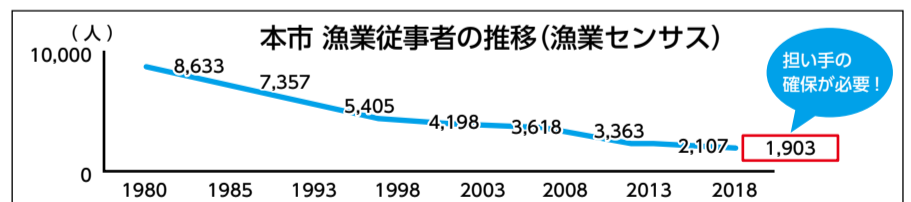


水産業担い手育成 総合支援事業

持続可能な水産業のために



全国的に漁業従事者は減少の一途をたどっており、本市の漁業従事者数も、震災前の調査から4割以上も減少し、高齢化も進んでいます。また、水産加工業においても従事者不足が深刻化しており、担い手の確保が喫緊の課題となっています。

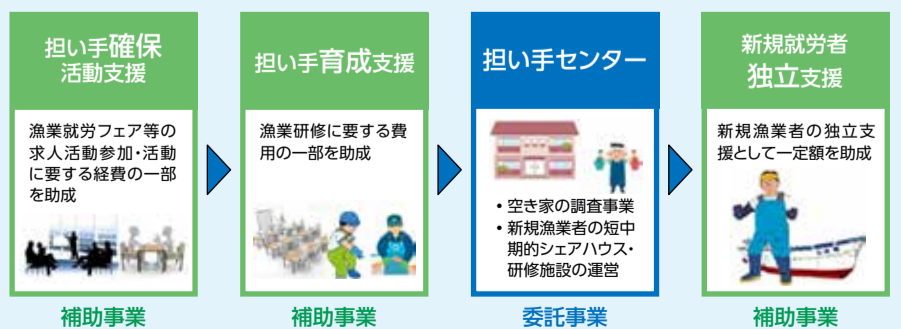


担い手の確保が必要!

【水産業の未来のために】

水産業の担い手を確保し、本市の基幹産業である水産業を将来にわたって維持していくため、水産業の担い手育成に取り組んでいます。

担い手育成支援のイメージ



担い手確保育成総合支援事業費補助金

担い手確保のための取組として、次の補助事業を実施しています。

区分	内容
①担い手確保活動支援	求人活動を支援
②担い手育成支援	研修・資格取得を支援(フォークリフト免許取得支援など)
③新規就業者独立支援	独立時の費用を支援(漁具の購入支援など)

漁業に興味・関心のある方、未来の漁師を目指す方は、
ご連絡ください!

☎ 市水産課(内線3514)
(一社)フィッシャーマンジャパン ☎98-7071
✉ triton@fishermanjapan.com

